



で	き	る	っ	て、
何	？			



able

エイブル

2001年毎日映画コンクール記録文化映画賞受賞 渡辺 元 高橋 淳 キャサリン・ルビ マーク・ルビ 製作・監督：小栗謙一 製作総指揮：細川佳代子

製作協力：able映画制作基金に寄付を寄せた全ての人々／ベリー・リハビリテーションセンター／ギルバート・ハイスクール／スペシャルオリンピックス・チャンドラー／スペシャルオリンピックス・アリゾナ／スペシャルオリンピックス・インターナショナル／NPO法人スペシャルオリンピックス日本／ベストバディーズ・アリゾナ 協賛：トヨタ自動車株式会社／ノースウエスト航空会社／キャンノン株式会社／日本オラクル(株)有志の会／ステファニー化粧品株式会社／ソニー生命ボランティア有志の会

製作：able映画制作基金／株式会社デレクターズシステム 芸術文化振興基金助成事業 文部科学省選定 配給：「able」の会 配給協力：イメジフォーラム 宣伝：ムヴィオラ <http://taki.co.jp/able>

渡辺 元、19歳。ダウン症。高橋 淳、17歳。自閉症。二人の少年が、アメリカ アリゾナでホームステイをした。



たった1時間半、彼らを見ただけなのに、今とても、いとおしく思います。彼らと話したい、友達になりたい、心からそう思います。(試写会アンケートより)



これは、ここ数年の映画の中で、 とびぬけて魅力的な二人の少年のドキュメンタリー。 そして、彼らには「知的障害」があります。

「障害者ではできないのではない。社会が彼らをできないと思って、できなくさせているのだ」。これは、知的障害を持つ人々のスポーツを振興しているスペシャルオリンピックスの創設者、ユーニス・シュライバーの言葉です。映画「able/エイブル」の監督・小栗謙一の頭の中には、製作を思い立った時から、ずっとこの言葉がありました。初めは、障害者の「できる=able」を描くために、特別な才能を持った登場人物を主人公にしようかと考えました。しかし、最終的には、無口でどこも特別には見えないゲンとジュンがアメリカに行くことになりました。そして、カメラがいてねいに優しく彼らの日々をすくいとった時、この特別ではない二人の知的障害の少年の物語が、いつの間にか、とびぬけて魅力的な、とても愛おしい少年のドキュメンタリーになりました。瞬間瞬間を楽しむのが上手で、見事なダンスを披露するゲン。イルカを触るのは嫌なのに、イルカを眺めているのは大好きなジュン。2人ともユーモアのセンスは抜群です。これは、彼らが言葉も習慣も違うアメリカでそれぞれの「可能性=able」を広げていく冒険映画であり、日々の暮らしの中で彼らが周囲の人と信頼関係をつくっていく「可能性=able」を綴った希有な日常の記録です。




渡辺 元、19歳。ダウン症。高橋 淳、17歳。自閉症。 アメリカでのホームステイが始まった。

アリゾナに住むキャサリンとマーク夫妻は、日本の少年二人をホスト・ファミリーとして受け入れ、数か月間、一緒に暮らすことを決めた。19歳のゲン・ワタナベはダウン症、17歳のジュン・タカハシは自閉症である。キャサリンとマークには、それまでほとんど障害についての知識がなかった。一生懸命のかたまりのようなキャサリンだったが、少年達を出迎えて戸惑いを感じる。日本語しか判らないゲン。目を合わさず言葉話さないジュン。家に向かう車の中でもひとこと会話も成立しない。果たして本当に二人と暮らしていけるのだろうか…。

3ヶ月、100時間におよぶ撮影の記録から、 いくつもの感動の瞬間が生まれた。

撮影は、これまでに数々のテレビ・映画のドキュメンタリーで高く評価されている監督の小栗謙一を中心に、ゲンとジュンをケアするスタッフを含め、わずか6名で行われた。二人の少年の体調や、ホスト・ファミリーの不安を考慮し、スタッフはすぐ近くに貸家を見つけ、3ヶ月にわたってそこで暮らしながら、毎日を撮影した。そして100時間をこえる撮影の記録を1時間40分ほどに編集するという困難な作業の末、完成したこの映画は、2001年度毎日映画コンクール記録文化映画賞を受賞した。



 この映画を見ると、たくさんのことが話したくなる。「障害者」と「健常者」の違いということ。コミュニケーションのこと。家族のこと。友達のこと。アメリカという社会のこと。日本という社会のこと。人間の魅力、個性のこと。誰にもある可能性のこと。きっとたくさんの感じ方があり、たくさんの意見がある。たくさん話すことで何かが変わっていくことがある。映画を見た人同士が、見た人と製作者とが語り合える掲示板をどうぞ訪れてください。



<http://taki.co.jp/able>

able エイブル

2001年毎日映画コンクール記録文化映画賞受賞

製作・監督：小栗謙一 製作総指揮：細川佳代子 製作：able映画制作基金/株式会社ディレクターズシステム (日本/35mm/カラー/ビスタサイズ 1:1.85/101分/モノラル) 配給：「able」の会 配給協力：イメージフォーラム 宣伝：ムヴ(オラ

エイブル上映会 in 札幌 平成28年11月28日(月) 19時~20時50分(開場 18時30分)

【場 所】 札幌エルプラザ大ホール/札幌市北区北8条西3丁目 TEL:011-728-1222

※JR札幌駅北口より徒歩3分(札幌駅北口地下歩道12番出口)

【入場料】 1,000円 【主 催】 札幌エイブル上映有志の会